

おだがいさま

odagaisama

16号
平成20年
5月15日発行

平成20年度事業計画・予算概要(P2~P3)

みんなで支えあう福祉コミュニティ(P4~P5)

情報掲示板(P6)

銀メダルは
チームワーク
の証し!

スペシャルオリンピックス



山形アイスモンスターズ(フロアホッケーチーム)

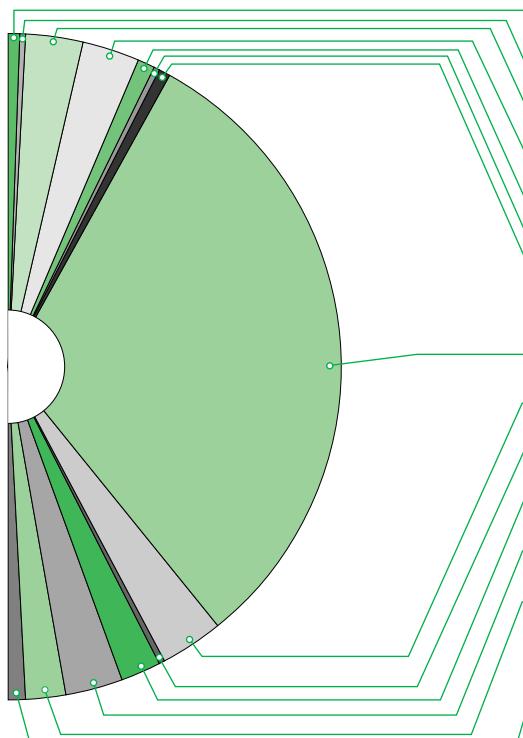
知的障がい者スポーツの祭典「第4回スペシャルオリンピックス山形大会」で、準優勝という栄光に輝いたアイスモンスターズは、普段は木工製品の製作などに従事している愛光園の利用者の方々を中心に結成されています。仕事で培った精神力を武器にした、逆境に負けない落ち着いたプレーが持ち味です。

「みんなとの練習が1番楽しい」と語るアスリートのみなさん。誰もが一緒に楽しむことのできるフロアホッケーが、大会を機にますます広がりを見せることが期待されます。

協議会 事業計画・予算概要

収入 2,652,248千円

計 予 算 >



〈特別会計予算〉 (就労継続支援事業)

収入予算：38,625千円

支出予算：36,179千円

平成20年度事業計画

鶴岡市社協は、平成十七年十月に合併してから二年半が経過しました。

平成二十年度は、合併後に残された課題へ精力的に取り組むとともに、新しい

時代にふさわしい事業運営のあり方の検討・実施へ向けた取り組みにシフトしていくことが必要です。

将来的な視点に立った事務事業運営の推進を念頭におき、次とのおり取り組んでいきます。

- 経営の安定化・健全化と透明性の確保
- 事務事業の検討と改善・改革の推進
- 効率的・機能的な組織体制の確立と人材育成の推進
- 小地域に根ざした住民主体による福祉活動の支援とネットワーク化の推進
- 利用者本位の質の高い福祉サービスの提供と介護事故の抑止の推進
- ボランティア機能の充実と福祉学習・ボランティア育成の推進
- 「もみじが丘」、「かたぐるま」の障害者自立支援法に対応した円滑な事業移行

徴収方法が異なっている状況にあります。社会協会費は、福祉センターより額や

★組織運営

「福祉教育研修会」



▲「私たちが児童・生徒たちに伝えたいこと」をテーマに話し合われました。

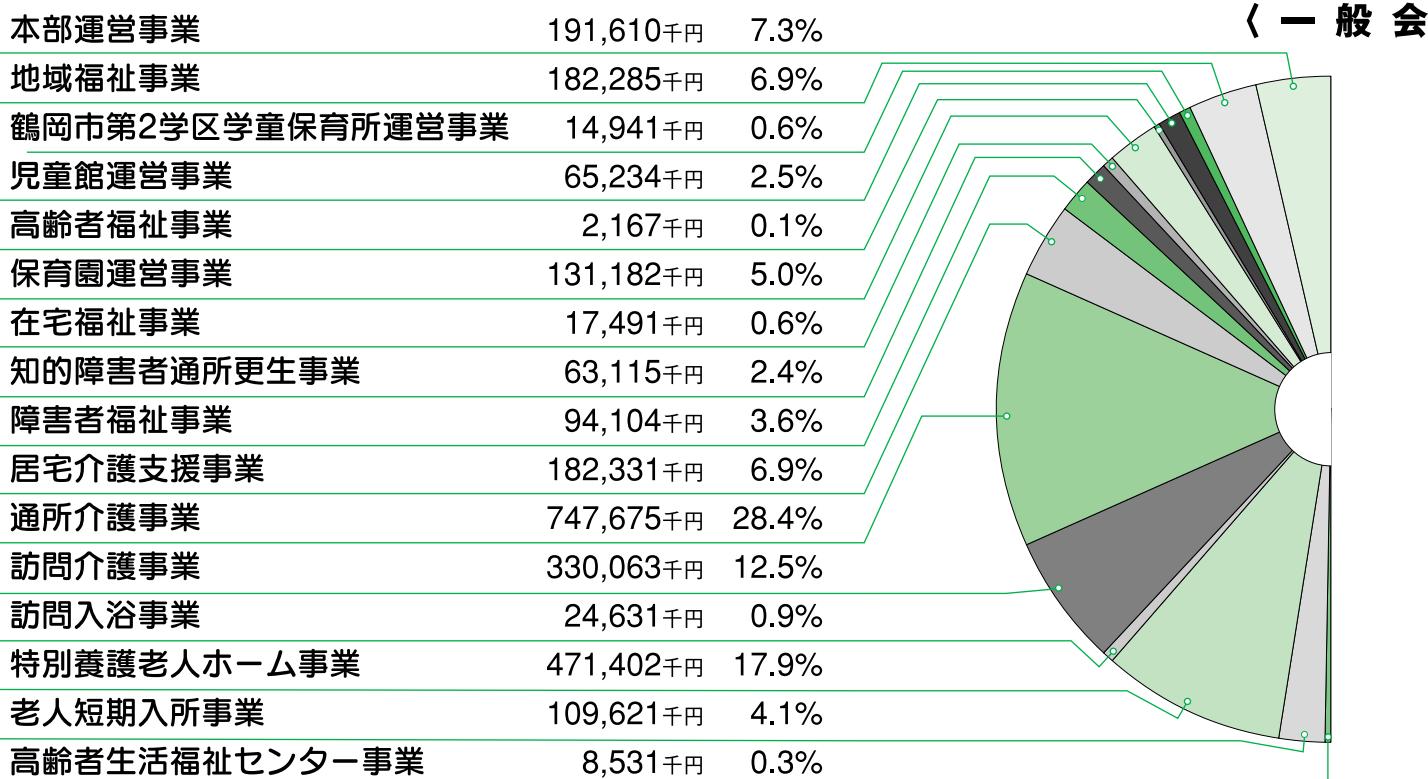
相談事業は、今年度から「ふれあい福祉相談」事業として、生活資金の貸付、日常的な金銭管理などの相談に対応します。また、無料法律相談を山形県弁護士会等の協力を得て年十四回開催します。

★地域福祉事業

今年度、地域福祉事業について内容の統合・平準化を進め、一般会費の統一に向けての方向性を示していきたいと考えております。また、賛助会費については、今年度から本部で事務統一を図ります。

平成20年度 鶴岡市社会福祉

支出 2,636,383千円



鶴岡市障害者福祉計画に沿ったサービスを提供するため施設整備を行い、また、サービスの充実と障がい者の就労を支援する事業の展開を行っています。

★障害者福祉事業

通所介護事業では、認知症の方の支援として注目されている「認知症の人たためのケアマネジメントセンター方式」の実施に取り組みます。また、運動会などを企画し、利用者の介護予防や意欲向上に努めます。

「一人ひとりの尊厳を守る支援」を実現するため、利用者を理解し、適切な支援の成果が出るよう、関係者が共通の視点を持ち、利用者に関わります。

★高齢者福祉事業



▲4月16日は朝日福祉センターを会場に行いました。



▲毎日たくさんの親子が来館しています。

四月一日から「もみじが丘」が、十月から「かたぐるま通所更生施設」が、就労継続支援事業（B型）に事業移行します。これに伴い、職場実習や活動プログラムの整備を行います。

★児童福祉事業

子どもを取り巻く環境が大きく変容する中で、安全で安心して子育てできる環境づくりに一層取り組みます。特に自由来館の児童館・つどいの広場では、子ども家庭相談と運動し、子どもの成育に不安をもつ保護者への支援を行います。保育所では子ども達の情緒の安定を図り、心身共に健康な子どもを育むために、保護者の現状を受け止め、子育ての方とともに探っていきます。

福祉の向上に努めます。

みんなで支えあう福祉コミュニティ



学区・地区社会福祉協議会の紹介

鶴岡地区では、「自分たちが暮らす地域社会の福祉課題は自分たちの手で解決しない」という想いのもと、「学区・地区社会福祉協議会（以下「学区・地区社協」）」が住民の主体的な参加と協力により組織されています。現在、鶴岡地区の小学校区単位に21の学区・地区社協が設立され、地域福祉活動を行っています。

学区・地区社協の概要

設立の経緯

昭和六十年代頃から、高齢化社会が進むなかで、高齢者問題が顕著に見られるようになりました。そこで、福祉問題を把握し、解決していくための地域福祉活動の基盤となる組織が必要とされ、それらを担う団体として、昭和六十三年から、すでに設置が完了していた七箇所の学区・地区以外の社協の組織化が始まりました。開始から八年後の平成八年には、鶴岡地区にあらる二十一全ての小学校区で組織されました。

一策定の経緯

「第五学区は人口が減少していく、他の学区・地区社協と比べても高齢化率が高く、一人暮らしの方も多いです。五年後十年後のことを考え、地域全体で高齢者の方々を見守ろうということがきっかけになりました。

約五年前から、車座トーケ、先進地視

察、研修会などを重ね、学区内の福祉問題を解決すべく、瀬川策定委員長のもと

活動拋點

鶴岡地域の二十一小学校单位
一内に事務局を置いています。

第五学区社協 地域福祉活動計画

全国的に珍しく、大変先

駆的な取り組みと言えます。
第五学区社協の茅野進会長からお話を伺いました。

だけでなく『福祉でまちづくり』を進めたいと考えています。」

「前例がないという点では大変でした。皆に分かりやすいものにするため、写真やグラフをたくさん入れるなどの工夫をしました。

また、今後、町内会長や民生児童委員の方々から、ご理解をいただくと同時にいかに連携を図つていけば良いか、より皆さんから地域福祉を分かつてもらうよう努めていきたいと思います。」

一 計画を実施するために

どんな団体なのか？

概ねコミニティ組織（コミニティ振興会・自治振興会）町内会、民生児童委員協議会、老人クラブ、婦人会、食生活改善推進団体、身体障がい者団体、ボランティア等の地域の関係団体で構成され、互いに連携・協力しながら、それぞれの地域の実情にあつた福祉活動を行つています。

題を解決すべく、瀬川策定委員長のもと活動計画を作成しました。高齢者の問題

作成して学区内の
を図る予定です。

きたいと考えています。また、普及版を作成して学区内の全世帯へ配布し、周知を図る予定です。一

第五学区社協において地域福祉活動計画が完成しました。



市社協との関係性

学区・地区社協は、鶴岡市社協の支部組織ではありませんが、互いに協力しながら福祉のまちづくりを進めています。

当該地域で解決できる問題は地域内で解決とともに考えます。また、市社協では学区・地区協に、各種補助金の交付、各社協の情報の整理・提供、地域福祉課担当職員による協力など、さまざまな支援を行っています。

学区・地区社協連絡委員会について

各学区・地区社協の会長によって構成され、情報交換会や研修会を企画・実施し、学区・地区協間の横のつながりや市社協との連携を行っています。



2. 課題発見・整理

車座トークの開催や福祉協力員の設置により、地域課題を発見し、整理する体制づくりを推進しています。



3. 福祉活動応援団づくり

地域の課題に対して、地域の中で支援できる体制づくりに向けたボランティアスクールや各種学習会を開催しています。



4. 関係団体との連携・協力

町内会・自治会・コミ協等地域内の関係団体と連携を図り、福祉合同会議などを開催し、福祉コミュニティづくりを目指しています。



5. 学区・地区社協計画づくり

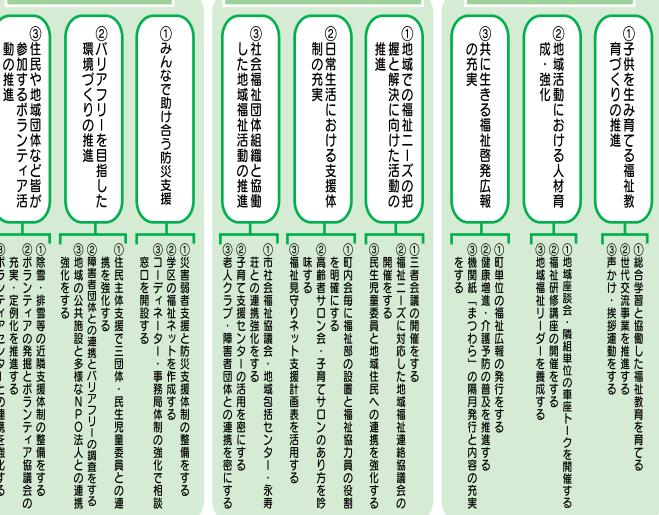
21学区・地区社協ごとの地域課題、環境にそった活動計画づくりに向け、地域診断、課題整理を行います。



「これまで高齢者の方と関わる中で『何を望むか』を聞き、こうして活動計画としてまとめることができました。今、町内会役員や見守り隊として活動する人が少なくなっていますが、この計画を通して、皆で協力し、支え合うということを分かってもらいたいです。」

会食会調理ボランティア
代表 板垣 葉子さん

私も参加しました！



i 情報掲示板

鶴岡老人福祉センターの「マッサージ奉仕」に利用者負担300円をいただくことになりました

●期日 毎月第3金曜日

●時間 午後1時30分
～3時30分

※なお、順番を決める抽選を行いますので1時15分までにおいで下さい。

●問合せ 鶴岡老人福祉センター

☎24-0066

【マッサージ日程表】

月	日	月	日
H20・4月	18日	10月	17日
5月	16日	11月	14日
6月	20日	12月	19日
7月	18日	H21・1月	16日
8月	お休み	2月	20日

鶴岡地区福祉バス利用申込み抽選会のお知らせ

平成20年7月～10月までの福祉バス利用抽選会を行います。

●日時 平成20年6月4日(水)午前10時～

●会場 鶴岡老人福祉センター大広間

●問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 ☎24-0053

車両寄贈 ボランティア活動に活用いたします

鶴岡市遊戯業協同組合から「鶴岡市のボランティア活動に役立ててほしい」と鶴岡市へ車両の寄贈がありました。



鶴岡市ボランティアセンターで活用しております。

手話奉仕員養成講座（基礎課程）の開催

手話を通じて聴覚障がい者の暮らしを知り、手話通訳の基礎を学びましょう。

●期間 平成20年6月2日～平成21年3月2日までの毎週月曜日（全31回）（但し、祝日および、12月22日・29日・H21年1月5日を除く）

●時間 午後7時～午後9時

●会場 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま 多目的ホール

●受講料 1,470円（テキスト代）

●対象 手話奉仕員養成講座（入門課程）を修了した方、または同程度の技術を有する方

●締切 5月27日（火）

●申込み 鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるま

☎28-3136 FAX29-2294

ホームヘルパー2級養成研修平日コース 受講者募集

●期日 平成20年5月26日(月)～7月14日(月)

●会場 鶴岡市中央公民館・地域福祉センターなえづ

●受講料 30,000円（別途健康診断料）

●対象者 健康で全課程に出席できる方で、ヘルパーを志望される方（定員30名）

●申込み 5月12日(月)～23日(金)午前9時～午後5時まで
社会福祉協議会事務局2階

または最寄りの各福祉センターへ

●その他 応募者多数の場合5月23日(金)午後6時から抽選により決定させていただきます。

●問合せ 鶴岡市社会福祉協議会 事業推進課 ☎24-0053

○○ ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。

（平成20年2月20日から平成20年4月20日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センター

鶴岡ナイスフェローライオンズクラブ様
30,000円

石川信子様

介護用ベッド、リクライニング車イス
(有)ハーバーコーポレーション(めん蔵)様
10,000円

鶴岡市立第三中学校生徒会様 車イス3台
鶴岡市朝市の会様 10,502円

◎藤島福祉センター

飯針幸夫様 銅版工芸1点・ガラス工芸1点

★老人デイサービスセンターふれあいへ

千葉雄平様 オムツ等68枚

★地域福祉センターなえづへ

鶴岡市立朝陽第二小学校JRC委員会様
肘つき椅子2脚

★高齢者福祉センターおおやまへ

中田幸雄様 C D 15枚と本

清野昭三様 10,000円

国際ソロプロチミスト鶴岡様 平行棒

五十嵐甚一様 食器類100点

★櫛引すこやかセンターへ

匿名 タオル125枚・バスタオル1枚・てぬぐい13枚

★くしひきデイサービスセンターへ

櫛引地域婦人会様 手作り石けん20個

★障がい福祉サービス事業所もみじが丘へ

木野俣老人クラブ様 10,000円
阿部英明様 苗木

★特別指定寄附 鶴岡手をつなぐ親の会へ

滝沢眼科様 10,000円

石橋内科胃腸科医院様 10,000円

石田内科医院様 5,000円

黒羽根整形外科様 5,000円

中目内科胃腸科医院様 10,000円

阿部内科胃腸科医院様 10,000円

礼申し上げます。
この場を借りて御
だきました。

「おだがいさま」
でも、このご好意に
れていました。
より、タイトルロゴ
をデザインして
いた
だきました。
この場を借りて御
だきました。

はんどれい(株)さ
んでは、フィランソ
ロフィー事業として、
社会福祉事業の関係
団体等に対し、ボス
ターヤリーフレット
などのデザインを無
料で行い社会貢献さ
れていました。
この度、はんどれ
い(株)さんのご協力
を得て、新たな「おだ
がいさま」タイトル
ロゴとしてスタート
しました。

前号まで、表紙の
題字は、市民のみな
様から書いていただ
き、掲載してしまし
た。

「おだがいさま」
タイトルロゴが
新しくなりました！

C お知らせ

おだがいさま

第16号

平成20年5月15日発行

発行部数 49,500部

編集・発行

社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会

鶴岡市西新斎町14-26

TEL 24-0053 FAX 23-9110

ホームページ <http://www.shk01.jp/>

藤島福祉センター TEL 64-3100

羽黒福祉センター TEL 62-4534

櫛引福祉センター TEL 57-5300

朝日福祉センター TEL 53-2795

温海福祉センター TEL 43-3266

この広報誌は、赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。



おだがいさま 6